

科目名	建築製図法				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2021年度 後期	単位数	1		
担当教員	新妻 多恵子				
内容および計画	ここでは「設計製図」で学んだ図面の二次元的な表現方法から、空間を三次元的に伝えるための図面の描き方、表現方法について学ぶ。基本的な建築図面の意味や読み方、立体的な図面の描き方を学び、自ら三次元的な空間を把握できるようにするとともに、第三者に伝えられるようにする。建築図面の基礎的要素である平面図、断面図と、さらに展開図等の読み方、描き方と、これらをもとにしたアイソメ、アクソメ図、透視図の描き方、表現方法を身につけることで、三次元的な建築空間を理解し、人々に伝えられるようにする。また、線遠近法、空気遠近法等についても学び、プレゼンテーションとして必須なカラーリング、陰影表現、添景表現を実践する。				
1	ガイダンス建築図面の種類と表現方法、課題説明				
2	様々な図面表現、透視図、遠近法等について				
3	住宅図面をアイソメトリック（アイソメ）図法で表現する				
4	自ら設計した課題の平面図、断面図、展開図の作図				
5	自ら設計した課題の平面図、断面図、展開図の作図				
6	1点透視図法（1消点法 one-pointperspective）の解説・実践				
7	平面図、断面図、展開図を作図し、1点透視図法を描く（インテリアパース）①				
8	平面図、断面図、展開図を作図し、1点透視図法を描く（インテリアパース）②				
9	2点透視図法（1消点法 two-pointperspective）の解説・実践				
10	平面図、断面図、展開図を作図し、2点透視図法を描く①				
11	平面図、断面図、展開図を作図し、2点透視図法を描く②				
12	平面図、断面図、展開図を作図し、2点透視図法を描く③				
13	プレゼンパネルの作成①：自ら設計したパーソナルスペースの点景を加えた平面図、断面図、展開図の作図				
14	プレゼンパネルの作成②：自ら設計したパーソナルスペースのアイソメ図（着色）の作図				
15	プレゼンパネルの作成①：自ら設計したパーソナルスペースの透視図の作図				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
必要に応じて適宜資料を配布する。「設計製図」で使用した教科書「やさしく学ぶ建築製図 改訂版」を使用する。					
参考書	1) フランシス・DK.チン著「建築製図の基本と描き方」彰国社 2) 中山繁信「手で練る建築デザイン」彰国社 3) 松下季和・長沖充「やさしく学ぶ建築製図 改訂版」エクスナレッジ社				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
出席・受講態度					20
線描パース課題					80

学習到達目標	立体図法、透視図法に必要な平面図、断面図、展開図を作成し理解した上でアイソメ図、透視図法等を描けるようにする。最終課題では自ら設計した空間の平面図、断面図、展開図を作成し、さらにそれらをもとにアイソメ図、透視図を作成し、プレゼンボードにまとめられるようにする。
先修条件	「設計製図」を受講すること。
実務経験	実務経験あり：夫（一級建築士）と共に設計事務所を共同主宰。 建築設計業務歴 20 年、住宅設計においてはおよそ 60 棟以上の設計実績を持つ。他、事務所、商業施設、福祉施設等。 主としてプレゼン業務を担当している。これらの経験をもとに空間を伝えるための表現方法、応用について教授する。
その他	必須・選択の別：選択